

帝國大學特別會計法中改正法律案外二件特別委員會議事速記録第一號

付託議案

大正八年法律第十二號中改正法律案 公立學校職員年功俸國庫補助法案

委員氏名

- 委員長 伯爵林 博太郎君
- 副委員長 子爵大給 近孝君
- 子爵野村 益三君
- 北條 時敬君
- 荒川 義太郎君
- 男爵阪井 重季君
- 男爵福原 隼二郎君
- 男爵岩佐 新君
- 江原 素六君

大正九年七月二十二日(木曜日)午前十時十八分開會
 ○委員長(伯爵林博太郎君) 是ヨリ帝國大學特別會計法中改正法律案外二件ノ特別委員會ヲ開會イタシマス、差當テ帝國大學特別會計法並ニ大正八年法律第十二號ノ改正法律案、此ニツノモノニ付テ審議ヲ致シマス政府委員ヨリ此說明ヲ煩ハシマス

○政府委員(南弘君) 簡單ニ提出ノ理由ヲ申述、タイト思ヒマス、第一此帝國大學特別會計法中ノ改正、是ハ全ク現在物價騰貴其他ノ何カラ官吏ノ増俸ナリ、旅費ノ増給ナリ、物件費ノ増額ナリ、臨時事件費ヲ以テ支給イタシテ居リマス、ノフ經常費ニ組入レルト云フ爲ニ改正ノ必要ヲ生ジタ、即チ東京ニ於キマシテハ之ガ爲ニ増加ヲ致シマス、ノガ八十三万六千五百十六圓ノ増加ニナリマス、京都ニ於キマシテハ四十三万八千二百十八圓ノ増加ニナリマス、增加ノ點ハ増俸増給是ハ臨時手當ガ引直サレル、ソレカラ雇外國人ノ諸給與ノ増額、旅費ノ増額、物件等ノ増額、之ガ爲ニ是レタケノ費用ノ増額ヲ必要トスルニ至リマシタ、ソレカラ大正八年法律第十二號中改正法律案、東京ニ於キマシテ、東京大學ニ於キマシテ藥學部ノ擴張ヲ計畫イタシマシタ、從來ハ僅ニ定員十五人デアリマシタノガ現在ノ此藥學科ヲ現狀ニ顧ミマシテドウシテモ之ヲ擴張スル必要ガアルト認メマシタ、是ガ定員三十名ニ致シマス、隨テ藥學科教場其他ノ擴張ノ必要、是ガ爲ニ三十万圓ノ臨時費ヲ要シマス、九年度カラ十一年ニ至ル三箇年ノ繼續費ト致シマシテ三十万圓ノ支出ヲ致シマス、ソレカラ第二

項ニ於キマシテ、從來東京ノ工學部ソレカラ京都ノ工學部擴張計畫ヲ必要ト致シマシテ之ガ爲ニ此度ノ經常部ニ經費ヲ要スルヤウナリマシタ、是ガ擴張計畫ノ完成マデ其必要ニ應ジテ特別會計ニ繰入レルト云フ、工學部ニ於キマシテ約經常費ニ於テ三万六千五百一十一圓、其上藥學部ニ色々無理ヲ致シマシテ九月ウラ生徒ヲ容レヤウト云フ計畫ヲ立テマシテ、ソレガ爲ニ經常費ニ於テ一万九千九百八十二圓ノ増加デゴザイマス、京都ノ工學部ノ擴張計畫ハ授業開始イタシマシテ其經常費ヲ要シマス、コトガ三万五千三百二十三圓、ソレカラ末項ニ於キマシテ更ニ改正ヲ致シマシタノハ、高等學校ノ入學期ヲ繰上ゲル、其結果大學モ入學期ヲ繰上ゲル、是ガ爲ニ授業ノ短縮授業ノ繰上ゲラシマシテ、一時ニ壓搾教授ヲスル必要ガ起リマシテ之ニ要スル經費ヲ要求スル爲ニ、其必要ニ應ジマシテ特別會計ニ繰入レル途ヲ開ク爲ニ此兩方ヲ設ケテ次第デアリマス、大體改正ノ趣意ハ以上申述ベタ通りデアリマス、尙ホ細カキ點ニ於キマシテ尙落チタ點ガアリマシタナラバ御質問ニ應ジテ御答ヘ致シマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 公立學校ノ方ハ後ニ其方ノ擔任ノ政府委員ガ來タ時ニ讓リマシテ、只今前二件ニ付キマシテ御質問ガアリマス、ナラバ御質問ノ願ヒマス

○子爵野村益三君 藥學部ノ擴張ニ三十万圓ヲ要セラ、ト云フコトデアリマス、モウ少シ具體的ニ御話ヲ願ヒタイ、ソレカラ大學ノ入學時期ノ繰上ゲ、之ニ關シマシテ若干ノ費用ヲ要セラル、其額ガ御示シガアリマセヌスガ、序ニ其點モ伺ヒタイ

○政府委員(武部欽一君) 野村子爵ノ御尋ニ御答ヘ申上ゲマス、此東京ノ醫學部ノ擴張ノ爲ニ三十万圓ヲ要スルト云ヒマス、現在ノ藥學科教室ハ定員十五名デ、毎年學生ヲ十五名容ル、ト云フ規模デ以テ出來テ居リマス、教室デアリマス、然ルニ時局以來非常ニ此方ノ志望者ガ多ウゴザイマシテ、現在ソレヲ無理ヲシテ二十名マデ無理ニ收容イタシテ居ルヤウナ次第デアリマス、併ナガラ元此教室ハ非常ニ狭イデアリマシテ、實ハ廊下マデ使用ヲ致シマシテ居リマス、テ先般新聞ニモ出テ居リマシタガ彼處デ藥品ガ爆發シタト云フヤウナコトデアリマシタガ、マサカサウ云フヤウナ無理ナ使用法ヲ致シテ居リマスカラサウ云フ

コトニナラタト云フ譯デモナイカ知レマセヌガ、何ニ致シマシテモ元ト年十五名シカ容レナイト云フ積リテ建テタ家デゴザイマスカラ中ノ窮窟ニテ居リマス、是以上生徒ヲ容レマス時ニハドウシテモ擴張ヲ致サナクハ、又其實驗室ナドノ設備モ或學科ニ對シテハ殆ド出來テ居ラナイヤウナコトデアリマス、新ニ此處デ學生ヲ收容イタシマスニ付キマシテ、ドウシテモ此建物モ擴張スル必要ガアルデアリマス、サウシテ今年生徒ヲ多ク容レマスニ付キマシテ増築ヲ實ハ致ス計畫ヲ立テタノデアリマシテ、ソレハ斯ウ云フヤウナ内譯ニナルデアリマス、サウシテ總額三十万圓デアリマスガ、其中此建物ノ建築費ガ二十五万八千九百八十五圓ヲ要シマス、ソコデンレノ更ニ内譯ヲ申上ゲマス、ト云フト、教室及實驗室ヲ煉瓦造リニ階建三百二十四坪ヲ建テマス、是ガ單價六百五十圓デアリマシテ二十一萬六千六百圓ヲ要シマス、ソレカラ廊下ヲ造リマストカ、在來ノ建物ヲ少シ新築ノ爲ニ移シタリスルヤウナ經費、ソレガ約三千圓程掛リマス、ソレカラ暖房、給水、瓦斯、電燈等ノ設備ニ四萬五千餘圓ヲ要スルト云フヤウナコトニ相成テ居ルデアリマス、ソレデ建築費ハサウ云フヤウナコトデアリマシテ、其他尙ホ事務費ヲ、多少設備費ヲ要スルト云フヤウナコトデアリマス、主ナルモノハサウ云フヤウナモノデアリマス、ソレカラ此入學期變更ニ關スル經費、東京帝國大學ニ於キマシテ十八萬七千九百圓、京都帝國大學ニ於キマシテ六萬六千九百九十圓ト云フモノヲ九年度ニ於テ要スルト云フ譯デアリマス

○子爵野村益三君 子爵野村君ノ御話ガ出マシタカラ申上ゲマス、實ハ私ノ伺ヒタ第一項ニ付テハ寧ろ實驗室及之ニ對スル器具ノ設備ガドウデアアルカト云フコトヲ伺ヒタノデ、先刻ノ御說明ニ依ルト唯教室ヲ良クスルト云フコトガ重要ナ部分デ私ノ考ヘテ居リタコトハ殆ド吞ミ込メテ居ラナイヤウニ思ヒマス、實ハ私モ學生中ニ「エーテル」ノ爆發ヲヤッタコトデアリマス、先達デ「エーテル」ガ爆發シタコトモ知シテ居ルデアリマス、先達デ「エーテル」ガ爆發シタコトモ知シテ居ルデアリマス、目下藥學部ノ中ハ外ノ學科ニ比シテ劣テ居ル、是ハ所謂數年來ノ周知ノ事實デアリマス、私ノ希望スル所ハ實驗トカ、研究ノ設備トカ云フヤウナ方面ニモモウ少シ御盡力ニナリ、當然學部デヤルベキモノハ農科大學

ノ農藝化學ノ實驗室ヲ段々ヤテ行クト云フヤウナ筋違ヒ
ノコトヲシナイヤウニ、十分ニシタイモノデアルト云フ考ヲ實
ハ持テ居リマス、ソレヲ要スルニモ少シ藥學科ナリ其他ノ
醫學科ノ方ニ所謂内容充實ヲヤラレタナラバドナルモノ
ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、其邊ノコトハドウデアゴザイマス
カ、將來豫算面ニデアモ現ハレテ來ルト云フヤウニ考ヘテ宜シ
ウゴザイマス、マア當分ノ間ハ此儘ニヤテ行ク、不完全ナ
爲ニ有爲ノ學生ガ怪我ヲシテモソレハ仕方ナイト云フヤ
ウナコトデアリマセウカ、參考ノ爲ニ承テ置キタイト思ヒマ
ス

○政府委員(南弘君) 唯今野村子爵ノ申述ベラレタコト
ハ如何ニモ御尤モデアリマス、此研究上ノ設備費用ト云フ
コトニ付キマシテハ今日大學ヲ通シテ其邊ニ付テハ甚ダ十
分デアリト認メテ居リマス、其點三關シマシテモイロ、調
査モ致シテ大學ノ方ニモ話シテイロ、攻究イタシテ居ルヤ
ウナ次第デアリマス、將來財政上ノ都合ト相俟テ此點ニ
向テモ十分ノ充實ヲ計リタイト云フ考ヲ有テ居リマス、尙
序ニチヨト申上テ置キタイノハ此藥學部ノ費用ニ付キマ
シテハ建築費バカリノ費用デアリマセウ、此三十萬圓ノ中
ニハ設備費モ遣入テ居リマス、僅カデアリマス、ケレドモ二
萬五千圓バカリ設備ノ方ニモ計上シテアルヤウナ次第デ
ザイマス、無論十分デアルト申上テラレマセウ、其點ニ於テ
ハ一般ノニ今後十分ノ研究ヲ遂ゲマシテ出來ルダケノ目
的ヲ達シタイト云フ積リデアリマス

○福原鏡二郎君 其序ニチヨト伺ヒマス、今會計課長
ノ御話ニハ定員ガ非常ニ少イト云フコトデ、定員ヲ增加ス
ル積リナラバ何名增加スル積リデアリマスカ其話ガナカ
○政府委員(武部欽一君) 本來ノ定員ハ十五名ノヲ之
ヲ二十名無理ヲシテ入レテ居リマス、更ニ之ヲ十五名増シ
マシテ即チ定員トシテハ三十五名ニナル譯デアリマス
○福原鏡二郎君 藥學科ノコトハ唯今質問ガアツタノデア
リマスガ、私ノ聞イテ居ル所デハ從來ノ藥學科ハ非常ニ不
完全デアアルソレ故ニ製藥化學ト云フモノニ非常ニ力ヲ入
レルト云フ趣意ヲ御要求ニナラト云フヤウニ承知シテ居リ
マスガ、サウ云フコトデアリマセウカ

○政府委員(武部欽一君) 今回ハ此定員ヲ增加イタシ
マスルト同時ニ先ニ申シマシタ教室實驗室ノ建築費ノコト
ヲ申上テタノデアリマスガ、其實驗室ハ即チ唯今御話ノゴザ
イマシタ方ノ實驗室ニナリマスノデアリマス
○北條時敬君 此東京、京都ノ帝國大學ノ定額ト云フモ
ノハ以前ニ比シテ大分増加シテ居ルト思ヒマスガ、是迄近
年ドウ云フ工合ニ増加シ來タノデアルカ、今度ノ追加豫算
ニ出マシタノハ今度増加スル事項ハ判明イタシマシタガ、茲

ニ至ル迄ニ最初ニ決メラレタ定額經濟ト云フモノハ最初ノ
カラ見ルト漸次増シテ居ルト思ヒマスガ、ドウ云フ工合ニ増
シ來テ居ルノデアリマセウカ、何ガ故ニ増シテ居ルカト云フコ
トモ一應伺テ置キタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ細目
ニ參リマシテ入學ノ時期ヲ繰上ゲル、四月ニ入學セシムルト
云フコトデアリマスガ、是ハ兩帝國大學バカリノ問題デナク
テ、一般ニ帝國大學ノ問題デアリマセウ、又高等學校ノ問
題デアリマセウカ、是ハ勢ヒ此金額ハ動かカスベカラザルモノ
デアアルカ知レマセウカ、此金額ヲ四月カラ入學セシムルト云
フコトデアリマスガ、今後二箇年カ或ハ三箇年ニナリマスガ、
二箇年ノ修業年限ノ者ハ二年ト二期、三箇年ノ方ハ三
年ト二期期ト云フコトニナリマセウト思ヒマスガ、帝國大學
ダケガサウナルノデアリマス、高等學校モ矢張り其通りニ
二年ト二期期デアリマセウカ、風ニナルノデアリマスガ、
其狀況ヲチヨト承テ置キタイ、東京ノ帝國大學ノ方デ十
八萬圓、六、七萬圓ハ京都ノ方デア入學期間繰上ノ爲ニ要
ル、何ノ爲ニ要スル費用デアアルカト云フコトヲチヨト承テ
置キタイ

○政府委員(南弘君) 先程モ申上テタト心得テ居リマ
ス、大學ノ入學期ヲ四月ニ繰上ゲマスレバ、高等學校ノ入
學ヲ四月ニ繰上ゲテモ宜シイカト思ヒマス、兩者相俟テ
入學期ヲ四月ニシテ次第デアリマス、北條サンモ御承知ノ
如ク現在ニ於キマシテハ、入學期ガ九月ニナラシメテ居ルカラ大
學ト高等學校ニ於ケル色々ノ點ニ於テ不便ヲ生ジテ居ルヤ
ウナ有様デアリマス、此度教育會議ニ於キマシテモ隨分入
學ヲ四月ニスベキヤ否ヤト云フコトガ問題ニナラシメテデアリマ
ス、今回高等學校ト大學ト相俟テ入學期ヲ繰上ゲルト云
フコトニナリマシタ、是ハ京都、東京ノミナラズ九州、東北等
ノ大學モサウデアリマス、特別會計法ノコトハ先程會計課
長カラ京都ト東京ノコトヲ申上テマシタガ、此ノ法律ノ定
額ノ關係カラ他ノ方ハ豫算ノ爲メニ、先ツ高等學校ノ方モ
經費ガ要リマスガ、各學校學校デソレソレ事情ヲ異ニ致シ
テ居リマスノデ、設備ノ上ニ於キマシテモ、或ハ手當ト云フヤ
ウナ點ニ於キマシテモ色々經費ヲ要スルノデアリマス尙ホ各
學校ニ於テ各狀況ガ違フノデアリマス、或ハ設備ノ餘裕ガ
アル所ト無イ所トアリマスガ、無イ所ノ設備ノ上ニモ斯ウ云
フヤウナ次第デアリマス、尙ホ詳シイ事ハ會計課長カラ申シ
マス、定額ノ増加ノコトニ付テハ會計課長ノ方デ能ク分テ
居ルカラ申上ゲマスガ、元來定額ヲ極メマシテ、帝國大學ガ
完成シテ仕舞マシタナラバ定額以上ノ増加ノ必要モアリマ
スマイケレドモ、何分ニモ未ダ十分完成シ切タト云フ状態
デハナイ、漸次完成ヲ要スルヤウナ譯デアリマシテ、ソレガ爲
ニ年々定額ヲ増スカラ年々改正ヲシテ御協賛願フト云フヤ

ウナ有様デアアル、之ハ一面大學ノ進歩發達ヲ徵象スルモノ
デアリマス、是ガ十分完成スルヤウニナリマシタナラバ年々改
正ノ必要モナクナラウト思ヒマス、尙ホ此増加ノ模様ハ會
計課長カラ申上ゲマス
○政府委員(武部欽一君) 今北條サンノ御尋ネハ今回
ノ増加ノ内譯デ
○北條時敬君 ソレハ分テテ居リマス
○福原鏡二郎君 私ハ丁度ソレニ付テ少シ御伺イタシタ
イト思ヒテ居リマスガ、其前一ツ伺ヒタイノハ大正八年度法
律第十二號中改正法律案ノ第二項ニ臨時ニ政府支出
金ノ外擴張ニ伴ヒ要スル費用、是ハ何故大學特別會計法
ノ中ニ此ノ金額ヲ入レナイノデアルカ、別ニ此法律ノ方デ
御出シニナルカト云フコトヲ先ツ伺ヒタイノデアリマス
○政府委員(武部欽一君) 是ハ航空部藥學部ノ擴張ガ
完成イタシマシタ曉ニ於キマシテハ定額支出金ト相並バ
キ性質ノ金ト信ジテ居リマス、然ルニ是ガ完成ニ至リマス迄
ノ間ハ年々増額セラレルトコト思ヒマス、即チ大正九年ト大
正十年度ニハマタ金額ガ違テ參リマスカラ即チ此特別會
計ノ中ニ入レマスルト定額トシテ極メテシマハネバナラズ、完
成年ガ違ヒマスカラ完成期ニ至テ始メテ定額ノ中ニ加
ナケレバナラズト云フ積リデ、經常費ノ方マデハ八十二號中
ニ入レテ置キタイト云フコトニ致シタ譯デアリマス

○福原鏡二郎君 ソレデ御說明ハ分リマシタガ、唯今北
條君ノ御尋ガアリマシタ此ノ諸帝國大學ノ政府支出金ガ
次第ニ増加シテ來タト云フ模様ハドウダト云フ御尋ネデ、
是ハ唯今政府委員ノ御手計ニ表ガ無イラシイ、私ノ記憶シ
テ居ル所ニ依リマスルト、此ノ帝國大學ノ特別會計法ノ明
治四十年ニ出來テ今日マデ丁度十二年位ヲ經過イタシテ
居ルノデアリマスカラ其間ニ隨分此法律ハ改正セラレマシ
テ政府支出金ノ定額ト云フモノガ頻繁ニ改正セラレタノデ
アリマス、私ノ今記憶ニアルモノヲ申シマシテモ東京帝國大
學ニ商科ヲ置キタイト云フコトデ、商業科ヲ置ク爲ニ政府支
出金ヲ變更サレタコトガアル、ソレカラ又教官ノ俸給ヲ增加
スルト云フ事ノ爲ニモ増加セラレタ事アル度ヒニ定額ヲ變
ヘラレ、京都帝國大學ニ火事ガアツタトキ火災ノ爲ニ經費
ヲ御出シニナタコトガアル、航空研究ノ爲ニモ定額ガ變
タ、又行政整理ノ場合兩帝國大學ノ政府支出金ヲ減少サ
レタコトモアル、斯ノ如クニシテ元ハ東京帝國大學ガ約百
二十萬圓デアタモノガ、ソレガ今日デハ二百五十萬圓、倍
以上ニナラシメテ居ル、京都ハ八十八萬圓デアタト思ヒマスガ
ソレガ百四十七萬圓、之モ殆ド倍額ニナラシメテ居ルト云フヤウ
ナ譯デ、ソレデ大學ガ完成シタナラバ一定不動ノ支出金デ
イケルト云フ御話モアル、實ハ私共ハ之ニ關係ノアル法律ヲ

初メ立案シタ時ノ考ヘモンシナ風ニ考ヘテ居リマシタケレドモ十二箇年間ノ經過ヲ見マスト殆ド近年此法律ノ政府支出金ノ金額ヲ變ヘナケレバナラヌ必要ガ出テ來ル、ドウモ此ノ變ヘテ見ルト時勢ガ推移シテ來ル、學問ノ研究ト云フ事ニハドウモ際限ガナイカラ政府支出金ヲ一定シテ動かナイト云フ時期ニ達スルト云フコトハドウモ目當ガ付カナイノデハナイカ、是等ハ矢張り毎年定額ヲ變ヘテ行カナケレバナラヌコトナリハシナイカト思フデアリマス、今日ノ豫算ヲ見マスト特別會計法ニ依テ政府ガ支出スル金ノ額モ特別ノ法律ガ出來テ、大正八年法律第二號ノ如キ其一、スウ云フ特別ノ法律ノ規定ガアツテ、依テ政府ガ支出金ヨリ出ルヤウナ譯テ、非常ニ混雜シタモノニナツテ居ル、支部省ハ豫算編成ニ當テテ法律ノ改正ニ二度モ三度モ掛ラナケレバナラヌト云フヤウナ手數ノカ、ルヤウナ譯デアリマスガドウモ是ハドウモ云フ譯デアリマセウカ、此特別會計法ノ中ノ金額ト云フモノヲ削ラシマシテ、矢張り毎年豫算ニ依テ政府支出金ヲ御極メニナルト云フ方ガ便利デアリマセウカ、此法律ノ通りニシテモ差支アリマセウ、便利ト申シマスト東北帝國大學九州帝國大學ノ如キ毎年ノ支出金簡單ノヤウニ思フデアリマス、併ナガラ私ハ唯疑ニテ居ルノデアリマス、ソレニ付イテノ御考ヘハドウウデゴザイマセウカ、若シ之ヲ保存シテ行クト云フコトデアリマスレバ、九州帝國大學東

北帝國大學モ迫テ或ハ近イ中ニ政府支出金ヲ御極メニナラナケレバ釣合ガ取レナイコトニナルデアラウト思ヒマスガドウモ此定額ト云フコトニ付イテ法律ヲ決メテ置クト云フコトハ何トナク不自由ナヤウニ思ハレマス、是ハ既ニ現今多クアルコトデアラウト思ヒマス、唯疑トシテ御考ヘテ願ヒタイノデアリマス

○政府委員(南弘君) 此大學ノ定額ヲ法律ヲ以テ設ケルコトニ至リマシタコトニ付キマシテハ、福原サンハ最も能ク御承知デアラ、然モ東北帝國大學ニ於テハ定額ヲ設ケタ案ニ付テ經營ニ當ラレタ、御經驗ガアルコトヲ福原サンノ御考ヘハ餘程當局者トシテハ傾聴シテ伺フノ、無論此定額ヲ設ケマス結果増額ヲ致シマス場合ハ法律ヲ以テ之ヲ改正シナケレバナラヌト云フ不便ハアリマスガ、其代リ一面ニ於キマシテハ大學ハ其定額以內ニ於テ年々計畫ヲ立テ得ルト云フ利益モアリマス、此定額ノ制ヲ設ケラレタノハ此點カラデアレバ其點ハ今日モ尙ホ依然トシテ存在シテ居リ、又將來今日ノヤウナ狀態カラ行キマシテ年々殆ド何モナイ、昨年モ何モナイノニ今年改正スルト云フ理由ハ聊カ違テハ居リマス、或ハ定額制ヲ止メテ方ガ便利デアルカ知レマセウソレハ手續上ノ問題デアハナイカ、實際ニ於テ大學定額ヲ法律ヲ極メテ、ソレカラ調査シテ利益ガアレバ依然トシテ調査スル以

上ハ餘ホド是ハ攻究スベキ問題デアハアルマイカ、俄ニ之ガ定額制ヲ廢スル意思ハ有テ居リマセウ、ソレカラ仙臺、北海道、九州、是モ各此學部ガ相當ニ完成スルヤウナ時機ニ至リマスレバ、今日ノ考カラ致シマスレバ定額ヲ設ケル積リデアリマス

○子爵野村益三君 折角福原サンノ御話ガ出マシタカラ私ノ經驗シタ所モ御參考ニ申上ゲヤウト思ヒマス、實ハ私モ本案ト同様ノ組織ノ下ニ特別委員ニナツタコトガ一年以前ニアツタデアリマス、其都度令福原サンノ申サレタコトヲ當局者ニ御話ヲシタ、現ニ四十二議會ニ於ケル決算分科會ノ時ニモ亦繰返シテ此點ヲ御話シタコトケル記憶ヲ追テ見マスト一昨年アタリノコトデアラ、アタト思ヒマス矢張り東京帝國大學ニ於テモ三十万、二十八万圓デアリマシタカノ増額ヲ求メ、其時ニ此理由ヲ伺フタ時ニ、當時ノ當局者ハ免三角石炭ノ代金ニシテモ二十八万圓ノ大部分ヲ要スルト云フヤウナ打明話モアツタ其時ニモ重テ當局者ノ考慮ヲ求メタ左様ニ再三再四僅カニ三十万圓位ノ金ノ爲メニ其都度法律ノ改正ヲスルト云フヤウナコトハ法律ノ權威ニモ關スル又他方ニ於テハ各帝國大學ノ基本財産デモ出來テ恰モ北海道大學ノ如ク多クノ收入ヲ豫期スルト云フヤウナ狀況デアレバ免三角、サレバト云フ剩餘金ヲ資本金ノ方ニ繰入レル、其繰入レル高モ僅カデアルト云フ狀態デアレバ、少クトモ矢張り斯ノ如キ情勢デアレバ矢張り繼續シテ行カナケレバナルマイ、餘ホド考ヘモノデアハアルマイカト御話シタノデアリマス、所ガ形勢ガ一變シマシテ其當時ノ當局者ガ轉ジテ我々同僚トナラレタ時ニ新シイ當局者ニ向テ丁度私ノ申述ト同ジコトヲ繰返シテ御希望ニナツタコトガアル、當時ノ文部次官モ或ハ地位ヲ變ヘラレタラバ矢張りサウニ云フヤウナコトニ御成リニナリハシマイカト密ニ考ヘルノデアリマス、ソレレ無論我々ノ職トシテ法律案ヲ審査スルト云フコトハ聊カモ差支アリマセウケレドモ一方ニシテハ所謂特別會計ノ本領ヲ發揮スルコトモムツカシイ去レバト云フ、テ左ホド多額デモナイ金ノ爲ニ再三再四法律ヲ變ヘル、改正スルト云フヤウナコトハ面白クナイト云フヤウナコトデアレバ矢張り何トカ一ツ將來ノ爲ニ改定ニナルト云フコトガ必要デアハアルマイカ、福原サンニ至極御同感デアリマスカラ私モ同様ナコトヲ申述テ置キタイト思ヒマス

○北條時敬君 私モ大體ノコトニ付テ東京帝國大學ノ定額増加ノ趨勢ニ關シテハ當局カラ別ニ承ハラナクとも大體ソレ位ノ程度ノ了解ヲ致シマスノデアリマスガドウモ此定額經營デアテ居ルモノガ定額ガ始終變ハルト云フノハ意味ガ合ハヌノテ結論トシテハ福原君野村子爵ト同感デアリマスガ京都ノ追加豫算ノ項目ニ付テ先ホド御尋イタシマシ

タ學年ノ組織ヲ四月ニ改メルト云フニ關シテハ東京ノ方ニ於テハドレダケデアリマスカ十萬圓……京都ノ方デ六萬六千圓位ノ金ニナツテ居リマスガ、ソレハ式ヲ改メルガ爲メニドウシテソレ位ノ金ガ要ルノデアルカト云フコトヲモウ少シ金ノ必要ノ内容ヲ一ツ承ハリタイノデアリマス、ソレカラ東京大學ノ航空研究費ト云フ方デ、是ガ矢張りアリマシテ澤山ノ増額ニナツテ居リマスガ、是ハドウウ云フコトヲスルノデアリマスカチヨツト承リタイト思ヒマス

○政府委員(武部欽一君) 先ヅ入學期ノ繰上ノ方カラ申上マス是ハ入學期繰上ノ爲ニ經費ヲ要シマスノハ單リ東京、京都ノ兩帝國大學ノミナラズ先刻次官モ申上タ通り東北九州北海道ト何レモ之ヲ要スルノデアリマス、尙又更ニ高等學校サドモ要スルノデアリマスガ、其中東京ニ於キマシテハ、先刻申上ケマシタ通り九年度ニ於キマシテハ十八万七千九百圓、京都ニ於キマシテハ六万六千九百圓ト云フコトナリマス、更ニ此内譯ヲ申上ゲマスト云フト、臨時授業ニ對スル手當ガ……東京ノ方カラ申上ゲマス、東京ノ十八万七千九百圓ノ内譯ガ臨時授業手當五万三千七百五十圓、ソレカラ消耗品及實驗費九万四千五百圓、機械器具費一万五千八百一十一圓、電燈裝置費一万六千八百圓、京都帝國大學ニ於キマシテハ、今年度所要額六万六千九百九十圓、其内譯ガ臨時授業手當二万五千三百五十圓、消耗品及實驗費二万四千五百圓、機械器具費一万七千四百四十圓、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、即チ之ヲ申シマスト、此入學期繰上ゲルトドウシテモ此三月カラ先ヅ四月ニ授業ガ始マルノデアリマス、一學年ノ授業ヲシナケレバナラヌト云フコトガ起ルノデアリマス、其爲ニ教官其他ノ御骨折ガアリマスカラ、ソレニ對シテ手當ノ支給ヲ要スルノデアリマス、又實驗ヤ何カ、非常ニ是亦多ク課セナケレバナラヌノデアリマスカラ、此爲ニ諸種ノ消耗品ノ實驗ニ要スル諸費ガ生ジテ參リマス、ソレカラ尙機械器具ノ如キハ隨テ授業ヲ屢揮シテヤリマスノデ一時多ク要スルヤウナ譯ニナル、ソレレ機械器具費ガ要ル、尙授業ガ、時間ガ延長イタス關係カラ此授業ガ夜間ニ互リマスカラ、電燈ノ設備ノナイ所ニハ電燈ヲ付ケナイト云フト授業スルコトガ出來ナイ、ソレ東京ノ工科大学ト云フヤウナ電燈設備ノナイ所ニハ特ニ電燈ヲ裝置スルト云フ必要ガアリマスカラ、電燈モ設ケルト云フヤウナコトニナル、他ノ各帝國大學皆矢張りソレノ狀況ニ依リマシテ、同様ナル經費ヲ要スルト云フヤウナ譯デアリマス、ソレカラ航空ノ研究所ノ經費ニ付テノ御尋デアリマスガ、ソレハ此航空研究所ノ經費、中デ今度ノ増額ハ、經常部ニ於キマシテハ六万一千五百十二圓デアリマスガ、其大部分ハ官吏其他ノ増作増給、ソレカラ旅費、ソレカ

ラ物件費ノ増額、一般共通ノ増額ガ計上シテアリマス、新ニ航空研究所事業ガ進捗シテ参リマスニ要スル經費ハ、經常部ニ於テ一萬六千六百五十圓、是ハ主モ外國旅費デアリマスソレカラ航空研究所ノ増額ノ中デ主タルモノハ、臨時部ノ方ノ經費デゴザイマス、是ハ航空研究所ガ段々現存ノ状態デハイケマセヌノデ、之ヲ擴張シ色々ノ設備ヲ致シテ行カテレバナラヌ、ソレニ要ルノデアリマシテ、即チ今度造リマスノハ發動機ノ試験室ト致シテ、其發動機ノ實驗室ヲ設置イタシマス、或ハ又航空研究ノ爲ニ實驗材料トシテ飛行機ノ發動機ナドヲ要シマスカラ、サウ云フヤウナモノ購入代ト云フヤウナモノガ今度ノ臨時部ノ方ヘ計上イタシテ居ルノデアリマス、尙此航空研究所ノ經費モ臨時部ノ一部ハ實行豫算ガ以テ施行スルコトニ相成テ居リマス

○北條時敬君 其方ヲ少シ承ハリタカクテデアリマスガ、航空研究所ノ研究ノ内容デモガ、ドレダケニ…計畫トシテドレダケ充實スルヤウニナルノアルカト云フコトヲ、主モニ承ハリタカクテデアリマスガ、其方ナリ、ソレカラ新シイ人ヲ矢張り研究所ヘ御入りナルノデアリマスガ、其方ハ今度這入テ居リマセヌノデスカ、其中ニ…

○政府委員(武部欽一君) 今度ノ増額ノ中ニハ、別ニ航空研究所ノ例ヘ教授デアルトカ助教デアルトカノ増員ハ含ンデ居リマセヌ

○委員長(伯爵林博太郎君) 他ニ此案ニ付テ御質問ガアリマスカ

○荒川義太郎君 チヨット私ハ伺テ置キマスガ、此入學期ヲ繰上ゲルト云フコトハ學期ガ自然變テ來ル譯ニナルガ、サウスルト是マデ這入テ居ラタ者ハドウ云フ風ニナルカ、矢張り卒業期ハ七月ニナルト云フ譯ニナルカ、ソレハ矢張り短縮シテ繰上ゲテ教授スル、矢張り新學期ニ合フヤウニナルノデスカ、或ハ二ツ出來ルヤウニナルノデアリマスガ、ソレヲチヨット承リタイ

○政府委員(武部欽一君) 此入學期ヲ繰上ゲルトハ、即チ現在居ル人ハ皆矢張り三月ニ卒業セシメテ仕舞フト云フ原則ノ下ニ取扱フノデアリマス、新ナルモノハ無論四月カラ入學セシメルノデゴザイマスガ、現在在學スル者ヲ大正十年ノ三月ニ主トシテ卒業ニ又ハ進級セシメル、ソレデアリマスカラ一學期短縮セラル、譯デアリマス、其結果ソレノ教授ノ補ヒヲシナクレバナリマセヌカラ、授業ガ壓搾サレテ來ルト云フコトニナル、併シソレハ各部ニ於キマシテ、色々其所ニ設備ノ關係等ニ於キマシテ、其他必ズ實行スルト云フコトノ出來又所モアリマスカラ、サウ云フ所ハ多少例外ヲ以テ、一度ニヤラナイデ二箇年半ニ互テヤルト云フ所モ、極メテ例外トシテアリマスアレドモ、原則トシテハ即チ全部在學生ガ

全體三月ニ卒業シヌハ進級シテ仕舞フト云フコトニナリマス

○北條時敬君 ソレダカラシテナンデスカ、此九月カラノ三年生ト云フモノハ、來年ノ三月ニ卒業スルシ、ソレカラ二年生ハ來年ノ四月カラ三年生トナルシ、一年生ハ來年ノ四月カラ二年生トナルコトガ出來ル譯デスカ

○政府委員(武部欽一君) 大體左様デゴザイマス

○北條時敬君 高等學校モ矢張り其通りデスカ

○政府委員(武部欽一君) 左様デゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君) 兩案ニ付テ他ニ御質問ガゴザイマセヌケレバ、兎ニ角第三ノ公立學校職員年功加俸國庫補助法案ニ移リマス、差當リ當局者ノ御説明ヲ煩ハシマス

○政府委員(南弘君) 本案ハ大體ニ於キマシテ此冬ノ議會ニ提出シマシタルノ全ク同一デアリマス、唯十月カラ施行ト云フコトニナテ居リマスカラ、金額ハ豫算面ニ於テハ約半額ヲ見積リニシテ、即チ二十萬圓ヲ見積リマシタ、是ノ豫算金額ハ四十萬圓、一分分トシマスレバ八十萬圓、今年ハ約半分ヲ見積リマシタ、之ヲ設ケマス理由ニ至リマシテハ師範學校ナリ中學校ナリ高等女學校等ノ將來社會各方面ニ於キマスル、中堅人物ヲ養成スル機關デアリマス此學校ノ教育其宜シキヲ得ルナリト得ナイトハ將來國家ニ對シテモ重大ナ影響ガアリマスコトデ、目下ノ各種ノ状態ニ顧ミマシテ此種ノ教育ノ效果ヲ十分ニ致シマスルニハ先ヅ教員ノ待遇ノ向上ヲ圖ルコトガ最モ肝要デアルト考ヘマス、此待遇ノ向上ニ付テモ色々アリマセウ、長ク其位置ニ安シク留マラシメルト云フコトガ一番必要デアル所考ヘマシテ小學校教育ノ例ニ倣ヒマシテ年功加俸ノ制ヲ設ケタイト云フノガ此法律案ノ大體ノ趣旨デアリマス、大體小學校令ニ依リマシテ實行イタシタイト云フ考ヲ以チマシテ立案提出イタシタ次第デアリマス、尙ホ細カイトニ至リマシテハ御尋ネニ應ジマシテ御答イタシマス

○子爵野村益三君 公立學校職員ノ俸給モ各府縣ニ於テ大分今日ニ於テハ宜イヤウニナテ居リマス、ソレデ若シ御手許ニ各府縣ニ於ケル俸給ノ平均額ト云フヤウナモノ、表ヲ御持合セガゴザイマスレバ拜見シタイノデアリマス、ソレカラ第二ニハ唯今ノ御話デ市町村立小學校教員加俸、之ニ準ジテ矢張り施設ヲナサルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、其加俸ヲ受クベキ條件ニハ或ハ年限トカ割合トカ云フヤウナモノハ全ク同一ニナテ居ルモノデアリマセウカ、或ハ多少變テモ居ルノデアリマセウカ、其點ト、ソレカラ市町村立小學校教員ノ加俸ヲ受テ居ル者ガ何デモ七萬カラ八萬ノ間ト記憶シテ居リマス、今度ノ公立學校ノ職員ガ加俸ニ均

霑スル者ガ下ノ割合ニナテ居リマスカ、而シテ金額ハハ四十萬圓ト仰シヤウデアリマスガ、四十萬圓ノ半分ト云フコトニナルノデアリマスガ、四十萬圓ガ即チ半額ニナルノデアリマスガ、其邊ガ少シ明瞭デゴザイマセヌデシタカラ重ネテ御伺ヒ致シマス

○政府委員(赤司鷹一郎君) 第一ノ御尋ネハ中等學校ノ教員ノ平均給分近年大變宜クナッタガ、各府縣別ノ表ヲ欲シイト斯ウ云フ御要求デゴザイマス、是ハ出來テ居リマスノガゴザイマスカラシテ、是ハ茲デ申上ゲマセヌデ印刷物デ御手許ニ差上ゲルヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレカラ第二ノ小學校ト異ナル點デゴザイマスガ、是ハ大體ニ於キマシテハ小學校ト異ナリマセヌノデアリマス、唯此俸給額、年功加俸ノ支給額ノ額ガ變テ居リマスデゴザイマスルガ、大體ヤリマス標準ハ小學校ノ例ニ出來マスルダケ標準ズル、斯様ナ趣意デ立案ヲ致シテ居リマス次第デアリマス、是ニ牽連イタシマシテ此際ノ大體年功加俸ヲ實施イタシマス場合ニハドウ云フ形ニ於テ實施スルカト云フコトヲ此機會ニ於テ御說明申上ゲル方ガ便利カト存ジマスルノデ、序デニ此際等は等ノ問題ヲ一通リ申上ゲタイト思フノデゴザイマス、ソレハ先ヅ此年功加俸ヲ支給イタシマスル職員ノ居リマス學校ノ範圍ハ師範學校ノレカラ公立ノ中學校、ソレカラ高等女學校、無論實科ヲ含ムノデゴザイマス、ソレカラ其外ノ實業學校ト申シマス中ニハ實業專門學校ハ無論出來マス積リテ居リマスノデゴザイマス、然ラバ是等ノ學校ノ中デドウ云フモノガ年功加俸ヲ受クルノデアアルカト申シマスルト云フト、先ヅ大體申上ゲマス云フト是等ノ師範學校、中學校、女學校ノレカラ實業學校、是等ノ學校ノ學校長、教諭、助教諭、舍監、訓導、ソレカラ又保母ナドノアリマスル學校ハ保母及准訓導、是等ノ者デゴザイマシテ、專任者デゴザイマシテ五箇年以上勤績イタシテ居リマス者ニ大體支給イタシタイ、受給者ノ範圍ハ唯今申上ゲマシタヤウナ範圍ニ考ヘテ居リマス、ソレカラシテ給與イタシマスル所ノ金額ハ是ハ大凡二通リニ分ルマス、公立デ詰リ中學程度ノ學校ノ教育月俸五十圓以上ノ者ト、月俸五十圓未滿ノ者トニ大體分テ居ルノデアリマス、サウ致シマシテ月俸五十圓以上ノ者ハ五年乃至百三十二圓ヲ給シタイ、ソレカラ矢張り月俸五十圓以上ノ者ガ十年以上十五年未滿ノ者ニハ百八十圓以上二百四十圓ノ此範圍ニ於テ年功加俸ヲ支給イタシタイ、ソレカラ勤績年數十五年以上ノ者ニ對シマシテハ二百五十二圓乃至二百七十六圓ト云フ範圍内ニ於テ支給イタシタイ先ヅ斯様ニ考ヘテ居リマス、ソレカラ月俸五十圓未滿ノ者

ニ對シマシテハ五年以上十年未滿ノ場合ニハ四十八圓乃至七十二圓、ソレカラ十年以上十五年未滿ノ場合ニハ八十四圓乃至百八圓、ソレカラ十五年以上ノ者ニハ百二十圓乃至百四十四圓、先ヅ斯様ナ割合ヲ支給シテ致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ實業補習學校ニ付キマシテハ是ハ此前ノ中等學校トハ又其標準ガ變テ居リマス、公立ノ實業補習學校ノ職員デゴザイマシテ、月俸五十圓以上ヲ受ケテ居リマスル者ニ對シテ申上ゲマスレバ、五十圓以上デ、五年以上、十年未滿勤續イタシマシテモ、ニハ八十四圓乃至百八圓ソレカラシテ十年以上十五年未滿ノ者ニハ百四十二圓乃至百六十六圓、十五年以上ノ者ニ對シマシテハ二百圓乃至二百二十四圓、ソレカラシテ月俸五十圓未滿ノ者ニ對シマシテ是等ガ五年以上十年未滿勤續イタシマシタ場合ニハ三十六圓乃至六十圓、ソレカラ十年以上十五年未滿ノ場合ニハ六十五圓乃至八十九圓、十五年以上ノ場合ニハ九十四圓乃至百十八圓、先ヅ斯様ナ標準デ配當ヲ：交付致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスノデゴザイマス、ソレデ尙此年功加俸ノ適用ニ付キマシテハ此法律案ガ施行サレマス際ニハ此勤續年數五年以上ニ達シテ居リマス者ニハ、總テ五年以上十年未滿ノ額ヲ支給スル、斯様ニ考ヘテ居リマスノデゴザイマス、ソレデ是等ノ人ガ更ニ一旦五年以上十年未滿ノ者ガ一度年功加俸ヲ受ケマシテ、其後五年以上勤續イタシマシタ者ニハ、先刻申シマシタ率ニ依リマシテ十年以上十五年未滿ノ率ヲ支給シマスルシ又ソレガ引續キマシテ又五年以上勤續シマシタ場合ニハ又十五年以上ノ額ヲ支給スル、斯様ナコトニテ居リマス、尙ホソレニ附加ヘテ申上ゲマスルガ、此勤續年數ノ計算ノ工合ハ同種類ノ學校デ勤續年數ヲ通算イタシマスルコトハ申スマデモナイコトデゴザイマスガ、其人ニハ前ニ掲ゲマシタ學校ノ給與スベキ學校ノ種類ヲ申上ゲマシタガ、是等ノ學校ノ間ノ勤續年數ハ總テ相互ニ通算ヲスル、斯様ニスル見込デゴザイマス、ソレカラ尙ホ其外ニ此道廳、府縣視學デゴザイマス、郡視學若クハ市町村立小學校ノ訓導、又ハ准訓導ノ在職年數ハ之ヲ矢張り勤續年數ニ通算スル見込ミデアリマス、ソレカラ御承知ノ通り此小學校條例ヲマダ施行シマセヌ地方ガゴザイマス、是等ノ學校ニ於キマスル所ノ此公立諸學校ニ在職シマシタ此小學校ノ正教員、又ハ准教員ノ資格ノアル者ニ付テハ是モ通算ヲ致ス、斯様ナ考ヲ有テテ居リマス、ソレカラ尙ホ少シ細クナリマスルデゴザイマスルガ、休職期間ナドモ又此勤續年數ニ通算イタシマスル見込ミデアリマス、ソレカラ其外ノ支給方法ニ付キマシテハ、先ヅ大體此條給同ノ取扱ヒヲ致シマスル、斯ウ御

了承テ願ヒタイノデアリマス、例ヘテ見マスルナラバ休職ノ場合ニハ此三分ノ一ヲ支給スルコトガ出來ルヤウナ方法ニモナテ居リマス、ソレカラ又普通ノ俸給ハ大抵月制ニ致シマシテ之ヲ支給イタスト云フヤウナ規定ガゴザイマスガ、是ナドモ矢張り月制ニシテ支給シテ參ル、詰リ大體此條給令ニ準ジマシテ而シテ參リタイト云フ考ヲ持テテ居リマス、ソレカラ其次ノ御尋ネハ此年功加俸ニ依テ要シマスル所ノ人員ヲ要求イタシテ居ルノデゴザイマス、即チ此中等諸學校ノ中デ五年以上勤續イタシタ者ヲ二ツニ分ケマシテ、其中デ此五十圓以上ノ俸給ヲ取テ居ル者ガ、五千二百三十八人、ソレカラ俸給月額五十圓未滿ノ者ガ二千九百七十八人、ソレカラ公立ノ實業補習學校ニ付テ申上ゲマス、俸給月額五十圓未滿デアツテ、五箇年以上勤續イタシタ者ガ百五十七人、先ヅ斯様ナ計算ノ下ニ豫算ヲ要求イタシタヤウナ次第デゴザイマス、ソレヲ尙最後ノ御尋ネヲチヨト聞キ漏シタノデアリマスガ：

○子爵野村益三君 斯様ナル計算ノ下ニ位ニ總額ガナツテ居リマスガ、加俸ノ額ハ：：：
○政府委員(赤司鷹一郎君) 加俸ノ總額ヲ申上ゲマスト云フト、八十四萬圓程ニナリマスノデゴザイマス、ソレハ年額ト致シマシテ先刻次官カラモ既ニ説明ノゴザイマシタ通り八十四萬ノ半額ハ府縣ガ負擔ヲ致スコトニナリマス、國庫カラハ四十二萬圓出シ、府縣カラ四十二萬圓ヲ出シ、其又半箇年分ヲ今度ノ豫算ニ要求イタシマス、斯様ナ次第デアリマス

○北條時敬君 此年功加俸ノ大體ニ付テチヨト一應所感ヲ述ベテ置イテ質問イタシタイト思ヒマスガ、此公立學校ノ職員ニ對シテ此年功加俸ノ制度ヲ置カレト云フコトハ、矢張り教育者ノ優遇ト云フ御精神ト思フ、ソレデ尙此年功加俸ノ形ニセラレト云フノハ、教育者トナツテ一ツノ學校ニ勤續スルト云フ風ヲ起シタイト云フ、其風ヲ助ケルヤウニシタイト云フ御考ヘデアラウト思フノデアリマスガ、然ルニ其事ガ市町村ノ小學ノ教育ニ從事シテ居ル者ニ對シテハ既ニ此年功加俸ノ制度ガ餘程早クカラ定メテ居ルノデアリマス、其所デ其法ノ初メテ制定セラレタ時分ト云フモノハ小學校ノ教員ノ俸給ト云フモノハ矢張り僻地ノ寒村、貧弱ナル町ト云フヤウナ所デハ十分ナ待遇ガ出來ナイト云フコトデアツテ、其當時ニ頻繁ニ同一學校ニ務メテ居ルモノハナクナルノデ、少シ俸給ガ良イト云フト、他ニ迭テ行クト云フヤウナ、良イ教員ガ非常ニ異動ヲスルト云フコトヲ憂ヒマシテ、初メテ此小學校教員ニ對シテ年功加俸ト云フモノガ定メラレタモノダト云フ風ニ了解ヲ致シテ居ルノデアリマス、然

ルニ此小學校ノ教員ニ對シテ年功加俸ヲ定メラレマス時分ニハ、市町村ノ小學校ニ對シテハ、小學校教員ハ年功加俸ノ恩典ニ浴スルコトガ出來タケレドモ、縣立ノ師範學校ノ附屬小學校ト云フモノニ對シテハ其恩典ハナク、ソレハドウ云フ譯デアアルコト云フト附屬小學校ニ居ル者ハ、或ハ研究ヲシタイトカ、或ハ學問ヲ向上シタイト云フ考ノ者ガ就フテ師範學校ノ附屬ニ殘ルト云フトコトヲ希望シタモノデ、其殘ルト云フトコトハ一面ニ於テハ：：：又矢張り師範學校デ殘フト云フモノハ餘ホド優良ナ者ヲ探ルノデアアルカラ、師範學校ノ附屬小學校ニ殘サレト云フトコトハ餘程優良ナル教育者デアルト云フ風デ、矢張り一身上榮譽ヲ感ジタモノデアラウト思フ、ソレデ甘シテ年功加俸ナドノ恩典ニ浴スルト云フトコトハナイニ師範學校ニ居ルト云フトコトハ、最モ榮譽トシテ好シデ在職シテ居タモノデアラウト思フノデアリマス、併シ其時代ト今日ノ時代トハ違フノデアリマスカラドウシテモ師範學校ノ附屬小學校ト雖モ、矢張り教育上練熟シタ所ノ教育者ガ其學校ニ留テ長ク居ルト云フトコトハ、矢張り今日ハ必要デアアル、大分市町村ノ經濟モ發達シテ、矢張り縣ガ附屬小學ノ訓導ニ與ヘル所ノ待遇ト云フモノニ對シテ、ソレ以上ノ待遇ハ：：：市町村ト云フモノハ稍ソレニ近イモノガ出來ルヤウニナツタノデ、經濟上ニ於テ矢張り都會ヲ離レタ郡都ニ出ル小學校ノ教員ノ待遇ト云フモノハ師範學校ニ殘ル者ニ對シテ格別宜シト云フ譯デアリナイヤウナ今日ノ狀況デアアル師範學校ノ附屬小學校ノ方カラ申シマスルト云フト、矢張り長ク其學校ニ練熟シタ教育者ガ居ルト云フトコトハ附屬小學校トシテモ、縣内ノ師範學校トシテモ矢張り相當ノ年數デ教育上ニ經驗ノ積ンダ優秀ナル者ガ殘ルト云フトコトハ今日必要ナコトデアアル、其方ノ事情カラ申シマスルト云フト小學校ノ教員ニ對スル年功加俸ト云フモノハ、矢張り師範學校ノ附屬小學ノ訓導ニ對シテモ同様に取扱フ爲スノデ然ルベキ今日ハ時勢ニナツテ居ルト私ハ思フノデアリマス、ソレカラ今度公立學校ノ中等教育ニ從事シテ居ル教員ト云フモノニ對スル年功加俸ノ制度ノ案ガ茲ニ現レマシタノハ、是ハ大體ニ於テ至極結構ナコトデアリマスガ、是ハ一方ハ教員ノ優遇ト云フトコトナリヤセナケレバナラヌ、マア此頃ハ少シ狀況ハ違フテ居リマスケレドモ昨年、一昨年アタリト云フモノハ、中等學校學校ノ教員ノ優秀ナル者ハ皆他ヘ飛出シテ仕舞フ、文部省ガ高等師範學校ノ卒業生ニ對シテ義務奉職ト云フ義務ヲ負ハシテ居リマスガ、サウ云フ風ノコトハ、ハチットモ意トシナイノデ、モウ學費ヲ辨償シテモ矢張り自分ノ思フ所ノ方面ニ這入ルト云フ風デ、優秀ナル者ハ他ノ方面實業社會ナリ其他ノ方面ニ移ッタノ

デアル、是ハ中等教育ニ從事シテ居ル所ノ教員ニ對シテ優待優遇ノ途ガ未ダ不備デアット云フ爲ニサウ云フ狀況モ助長スルヤウニナラシメ居ル所ノ教員ニ對シテハ必要デアアルノアリマス、年功加俸ノヤウナモノ、其他ノ方法ヲ今日ハ中等教育ニ對シテ相當ノヨリ良キ優遇ノ途ヲ立テルト云フコトハ必要デ、其中ノ是ハ一ツノ案デアリマス、然ルニ此案ガ立テ見ルト云フト、唯今此小學校教員ニ對シテノ年功加俸ノ制度ニ付テ申シマシタト同ジ趣意ヲ以テ、高等師範學校ノ附屬ノ教諭以下訓導ニ至ルマデ、他ノ優遇ノ方法ヲ矢張り考究シナケレバナラヌト思フノデアリマス、實際附屬ノ中小學ニ從事シテ居ル所ノ實際ノ教育者ノ生活狀況ヲ見マスト云フト洵ニ悲惨ナル狀態ノ者モ随分アルヤウデアリマス、附屬ノ中小學ト云フモノニ從事シテ居ル教育者モ、矢張り是ハ府縣ノ中等學校ナリ小學校ニ對シテ、矢張り模範トナルダケノ教育ヲ施行カケレバナラヌ、ソレカラ高等師範學校ノ卒業生ニ對シテ矢張り練習ヲ：實地授業ノコトニモ當テソレダケノ力モナケレバナラヌ、矢張り力ノアル者ハ長ク留メルト云フコトハ、教育ニ連續シテ經驗ヲ致サセルト云フコトニナルノデ、模範學校ノ教官トシテモ、又新シイ教育者ヲ養成スル所ノ練習學校ノ教官トシテモ、連續ト云フコトハ：即チソレニ必要ノ條件ハ長ク其學校ニ留テ居ルト云フ風ノコトニセナクテハナラヌト思フ、ソレデ此法ノ精神上カラ申シマスト、名目カラ申シマストレバ公立學校ノ職員ニ對スル年功加俸デアリマスカラ、一般ノ高等師範ノ教官デアアル所ノ高等官デアアルトカ、判任官デアアルトカソレニ當嵌ルト云フ譯ニハ行カナイ、ソレニ當テ嵌メルト云フ特別ノコトニナリマス、然ラザレバ高等師範ニ居ル所ノ附屬ノ教諭以下訓導ニ對シ相當ニ府縣ガヤテ居ルト云フヤウニ優遇ヲシテ居ル匹敵スルダケノ矢張り優遇ノ道ヲ立テナケレバナラヌ、何トカ他ニ優遇ノ道ヲ立テバナラヌト思フノデアリマス、ソレデ當局者ニ少シ御質問申シタイト云フコトハ第一デス、此高等師範ニ居ル所ノ府縣ノ學校用ヒテ居ルト云フ場合ニハ、中學ノ教員ト同ジヤウニ其高等師範ノ附屬ニ居ル在職年數ト云フモノヲ矢張り加算スルト云フ風ニナリマスレバ、其反對ノ場合ハ府縣ニ數年間務メテ居テ、サウシテ高等師範ノ附屬ニ拔擢セラレバヤウナモノニ對シテモ此公立學校ノ職員トシテ、在職年數ヲ加算スルト云フ風ノコトニナケレバナラヌ、ソレガ一方ハ官吏デアリマスカラ、公立學校ノ職員ノ年功加俸ガ此案ニ當嵌ラナ

イノデアリマスガ、ソレガ當嵌ラヌトスレバソレニ對スルダケノ優遇ノ方法ヲ立テナケレバナラヌ、今日ノ制度トシテ此案ニハアリマセヌガ、小學ノ教員ニ對スル所ノ年功加俸ト云フモノハ、矢張り町村ノ小學ニ從事シテ在職年數ト云フモノヲ其縣ノ附屬小學ニ拔擢セラレタ時ニハ此案案ニヨルノデアリマス、此小學教員ノ年功加俸ノ法案デアアルガ、矢張り始めノ場合ハ効クヤウニサレテモ是ハドウカシテ出來ルデアラウ、師範學校ノ附屬ニ居ル所ノ町村ニアル場合ニ加算スル、町村カラ師範學校ノ附屬ニ這入ッテ來タ場合ハ同ジヤウニ待遇ノ恩典ニ浴スル：同ジコトニスルノガ公平デアルト思フ、ソレニ對スル當局者ノ專ラ此案ニハ御關係ナサテ居ルカモ知レマセヌガ、當局者ノ御考ヘハドウ云フモノデアリマス、此度ノ高等師範學校ノ附屬小學校ノ教員ニ對シテ是ガ當嵌マラヌトスレバ、之ニ對スル只精神的ニ拔擢サレタト云フコトハ榮譽ト思ハレズ、ソレダケナクシテ矢張物質的ニ相當ノ待遇ノ道ヲ：御考ニナルヤウデアリマシラガ承リタイト思ヒマス

○政府委員(南弘君) 唯今北條サンカラ續々御述ベニナリマシタ、是ハ御意見ノヤウニ承リマシタ、最後ノ高等師範學校ノ附屬ノ教員ニ對スル問題ソレカラ師範學校ノ附屬小學校等トシテ小學校ノ關係ノ二ツノコトデセウ此高等師範學校ノ附屬ノ教員ニ對シマシルコトハ、一應御尤デアラウト思フ併シ此案ハ御覽ノ通り年功加俸ノ法律案デナクシテ年功加俸ニ對スル國庫補助法ノ大體ニ於キマシテ公立學校ヲ府縣費カラ補助シテ居リマス、是等ノ俸給ヲ受ケテ居リマス者ニ對シテ、年功加俸ヲ府縣カラ負擔サセヤウトスルモノデアアル、隨テ公立師範學校ノ附屬ノ教員ハ純然タル官吏デアリマスカラ此國庫補助法ニソレヲ提出スルコトハ難シ、優遇ノ途ヲ立テナケレバナラヌ、此御説ニ至ラテハ如何ニモ御尤俸給法全體ニ對シ十分考慮ヲ致シタイト云フ考デアリマスソレカラ此師範學校ノ附屬ノ教員ト小學教員ハ昨日赤司君カラ明瞭ニ相互ニ通算スルト云フコトヲ申上ゲテ居ル、又此年功加俸ニ依リマシテ、從來小學校教育ノ年功加俸カラ、除外致シテアリマシタカラ、此度ハ師範學校ノ教員ニモ均霑サセルト云フコトデアアル、サウシテ相互ニ通算サセ：

○福原録二郎君 唯今御說明デアリマスガ、官吏ト云フ語ガアリマス、官吏ト云フ語ガアリマシタケレドモ、師範學校ノ校長ハ官吏デアアルガ俸給ハ全部國庫カラ出シテ居ルノデアリマスガ其年功加俸ハ何デゴザイマスルカ矢張半分々々ニ御出シニナルノデアリマス、是ハ例外ニナラシメ居ルノデゴザイマス、ソレヲ一ツ承リタイト思ヒマス、モウ一ツハ此小學校ノ教員加俸令ト、唯今局長カ御述ベニナリマシタ如ク加俸ノ標準ヲ比較シテ見マスト、小學校ノ方ガ少シ割ガ惡クハナイカト思ヒマス、是マデ宜シクゴザイマセウカ、例ヘバ實業補習學校ノ如キモノハ小學校ト同ジヤウナモノデアアル、所ガ小學校教員ノ加俸令ニ依リマスルト五年勤続シタ者ガ准教員デアテ、加俸ノ金額ガ十二圓乃至六十圓ト云フコトニナラシメ居リマス、所ガ商業補習學校ノ教員ハ五十圓以上ノ者ハ八十四圓乃至百八圓トナラシメ居リマスルカラ是ハ非常ニ多イ、五十圓者ト比ベテ見ナケレバナラヌト思ヒマス、ソレニ致シマシテモ三十圓乃至六十圓ヲ取ル小學校教員ノ方ハ十二圓乃至六十圓トナル、何ダカドウモ小學校ノ方ガ餘程安クハナイカト思ハレルノデアリマス、斯ウ云フコトハ差支ガナイノデアリマス、カソレモ伺ヒタ

○政府委員(南弘君) 第一ノ師範學校長ノ俸給並ニ之ニ對スル年功加俸、是ハ聊カソレニ付テハ御尤モノコトデアアルカト思ヒマス、元來此師範學校長ノ俸給ヲ國庫カラ支出スルト云フコトハ例外ノ現象トシテ、府縣ノ負擔ニ屬スベキモノデアアルガ、特殊ノ理由カラ國庫ガ特ニ出シテ居ルノデアアル、併シ俸給ハ全部府縣カラ出シテ居リマシテ此國庫補助年功加俸トハ別個ノモノニ考ヘタイト思ヒマス、ソレカラ補習學校ト小學校トドウデアラウカ、補習學校ノ方ハ實ハ待遇上ハ色ミアリマセウガ小學校ト同等ニハ見テ居ナイ、小學校以上ノ待遇ヲスベキモノデアアル、又今後色ミノ點ニ於キマシテサウ致シタイト思ヒマス、サウシテ小學校ノ俸給ニ於キマシテモ從テ餘リ不權衡ハナイト思フ、居リマス

○荒川義太郎君 段々御答ニ依リ分テ參リマシタ、第一ニ尋ネタイノハ師範學校長ハ矢張り之ニ這入ルモノデアリマス、退隱料恩給等ノ關係ハドウナリスマカ其加俸ト云フコトニ付テ伺ヒタイ、ソレカラモウ一ツハ實業補習學校教員：私ハ實業補習學校ハ之ニ這入ッテ居ナイダラウト思フ、居リマシタガ、唯今ノ御話デハ實業補習學校モ之ニ這入ッテ居ルト云フヤウニ伺ヒマシタガ、實業補習學校ト云フモノモ其中ニ包含シテ居ルト云フ、國庫ガ此法ニ依ッテ出ス加俸ハ今伺ヒマスレバ：即チ國庫デ半分出シテ、ソレカラ又府縣デ半分出スト云フ御話デアリマスガ、實業補習學校ハ府縣デ出シテ居ルノデハナイカト思ヒマス、サウスルト云フト、此補助ニ限ッテ市町村ノ：負ハセナイデ、矢張り此府縣トソレカラ國庫デ出シマシテ、市町村ハ此實業補習學校ニ對シテ、一文モ出サヌト云フコトニ思ヒマス、其點ヲ伺ヒマス

○政府委員(赤司應一郎君) 第一ノ御尋ネハ此師範學校長ノ年功加俸ハ恩給若クハ退隱料ニ於テドウ云フ風ニ取扱フカト云フ御尋ネデアリマス、是ハ矢張俸給ノ一部ト看做シマシタ、詰リ此退隱料計算ノ基礎ニイタス考ヘデゴザイマス、ソレカラ第二ノ御尋ネハ詰リ此實業補習學校

ノ教員ハ一體市町村ニ於キマシテ……市町村ハガ是ハ支辨ノモノデアアルガ、是モ年功加俸ハ此府縣ト分擔ヲシテ居ルノデアアルカドウデアアルカト云フ、斯ウ云フ御尋ト伺ヒマシタガ、是ハ御尋ネノ通りデアリマス、小學教員ノ年功加俸、是ハ矢張府縣ト國庫カラ出シテ居リマス、其例ニ倣ヒマシテ實業補習學校モ矢張市町村カラ出シマセヌデ、府縣ト國庫トデヤリマス積リデアリマス

○福原隼二郎君　モウ一ツ……局長ノ御話デハ中等程度ノ學校ト、ソレカラ實業學校、此ニツバカシデアリマスルガ、乙種ノ學校ハ下ナリナリマスカ

○政府委員(赤司鷹一郎君)　中學程度ノ學校ノ方ニ這入リマス

○北條時敬君　チヨット念ノ爲メニ伺テ置キマスガ、町村ノ學校ニ這入ッテ來夕場合ニ於テハ、年功加俸ト云フモノハ此法令ニ依ッテ決スルノデアリマスカ

○政府委員(赤司鷹一郎君)　左様デゴザイマス

○委員長(伯爵林博太郎君)　他ニ御質問ガゴザイマスカ……別ニ質問ガゴザイマセヌケレバ、討論及ビ採決ハ次ノ會ニ譲リマシテ、是デ今日ハ散會イタシマス

午前十一時五十四分散會

出席者左ノ如シ

- | | | |
|------|------|------|
| 委員長 | 伯爵林 | 博太郎君 |
| 副委員長 | 子爵大給 | 近孝君 |
| 委員 | 子爵野村 | 益三君 |
| | 北條 | 時敬君 |
| | 荒川 | 義太郎君 |
| | 福原 | 隼二郎君 |
| | 男爵岩佐 | 新君 |
-
- | | | | |
|------|-----------|----|------|
| 政府委員 | 文部次官 | 南 | 弘君 |
| | 文部省專門學務局長 | 松浦 | 鎮次郎君 |
| | 文部省參事官 | 武部 | 欽一君 |

大正九年八月十二日印刷

大正九年八月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局